

# 米海軍の空母ジョージ・ワシントン艦載機 厚木基地で離着陸訓練を強行

## 厚木基地での離着陸訓練

厚木基地で空母ジョージ・ワシントン艦載機による離着陸訓練が5月22日から24日まで実施されました。空母艦載機の離着陸訓練が厚木基地で実施されるのは平成19年以来、5年ぶりのことです。

当初5月8日から19日まで予定されていた空母艦載機の離着陸訓練は、17日までにそのすべてが硫黄島で終了しました。しかし、22日になり、防衛省は、空母の運用上の都合により、出港が数日間遅れ、その間のパイロットの練度維持のために、同日から24日まで、それぞれ午前9時から午後8時の間、厚木基地において訓練を実施



厚木基地で離着陸訓練を繰り返す  
F/A-18Eスーパーホーネット



黒岩知事に状況を説明する大木市長  
(大和スポーツセンター)

すると発表しました。

これを受け、大木大和市長は、ただちに在日米海軍厚木航空施設司令官のステイブ・J・ウィーマン大佐に面会するとともに、外務省および南関東防衛局を訪問し、すべての訓練を硫黄島で実施するよう強く要請しました。また、翌23日には横須賀の在日米海軍司令部を訪問し、副司令官に対して中止を要請するとともに、神奈川県知事や厚木基地周辺市の市長などとともに大和スポーツセンターで離着陸訓練の状況を視察。その後、厚木基地に向かい、厚木航空施設司令官に再度中止を求めました。こうした要請にもかかわらず、

離着陸訓練は22日から24日まですべての日程で実施され、うち2日間は、公表された午後8時以降まで続き、市民は極めて甚大な被害を受けました。この3日間で市に寄せられた苦情や意見などは計737件でした。

## 空母艦載機による深夜の飛行

空母ジョージ・ワシントンが横須賀を出港した後の5月27日から29日までの間、航海に向けた空母艦載機の飛行が深夜にまで及び、市民は再度大きな被害を受けました。深夜の飛行は睡眠が妨げられるなど市民生活に大きな影響をもたらすものであり、決して看過することができないことなどから、30日、大木市長は在日米海軍厚木航空施設司令官、外務大臣、防衛大臣に対し、改めて文書で要請しました。そして、その後の5月末までに艦載機のほとんどは厚木基地を離陸しています。

市では、厚木基地で離着陸訓練が実施されることがないよう、また、深夜にわたる飛行などにより市民生活に影響を与えることがないよう、あらゆる機会をとらえながら関係機関に対して求めていきます。

**関** 市役所基地対策課基地対策担当 (260)5310。

とき	実施状況など	市などの動き
5月22日(火)	厚木基地における離着陸訓練の公表	<ul style="list-style-type: none"> <li>大和市長が厚木航空施設司令官、外務省日米地位協定室長、南関東防衛局長に直接、厚木基地での訓練の中止を要請</li> <li>県と大和市を含む厚木基地周辺9市が厚木航空施設司令官、在日米海軍司令官、外務大臣、防衛大臣などに対し厚木基地での訓練の中止を要請</li> </ul>
	午前11時18分～午後8時51分 離着陸訓練実施	
23日(水)	午前9時9分～午後9時59分 離着陸訓練実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>大和市長が在日米海軍司令部を訪問し副司令官に厚木基地での訓練の中止を要請</li> <li>大和市長および神奈川県知事、厚木基地周辺市長などが離着陸訓練の実施状況を視察するとともに、厚木航空施設司令官に対して厚木基地での訓練の中止を要請</li> </ul>
24日(木)	午前9時39分～午後7時45分 離着陸訓練実施	
25日(金)		<ul style="list-style-type: none"> <li>県と大和市を含む厚木基地周辺9市が防衛省および外務省を訪問し、厚木基地での離着陸訓練を二度と実施しないよう要請</li> </ul>
26日(土)	空母ジョージ・ワシントンが横須賀を出港	
27日(日)～29日(火)	空母艦載機による深夜の飛行	
30日(水)		<ul style="list-style-type: none"> <li>大和市長が厚木航空施設司令官、外務大臣、防衛大臣に対して空母艦載機の飛行などについて要請</li> </ul>